

学校教育目標【わかる授業！友だちいっぱい！今日も来てよかったと思える白子小学校】

学校通信

No. 31 令和4年3月8日（火） 鈴鹿市立白子小学校

6年生 奉仕作業（3/4）～学校がきれいになりました～

3月4日5・6限目に6年生全員で奉仕作業を行いました。例年、卒業を前に、母校への感謝の気持ちを育むことを目的に行っています。主な作業内容は、特別教室（図工室や理科室など）のワックスがけ、資料室の整理、屋外の落ち葉集め、窓掃除、傘立て洗いなどです。6年生の子どもたちは、それぞれの持ち場で一生懸命作業をしてくれました。子どもたちのさわやかな仕事ぶりと綺麗になった学校を目にして、とても気持ちがよかったです。こういった卒業生の姿を、在校生がしっかりと受け継いでくれると思います。6年生のみなさん、ありがとう！



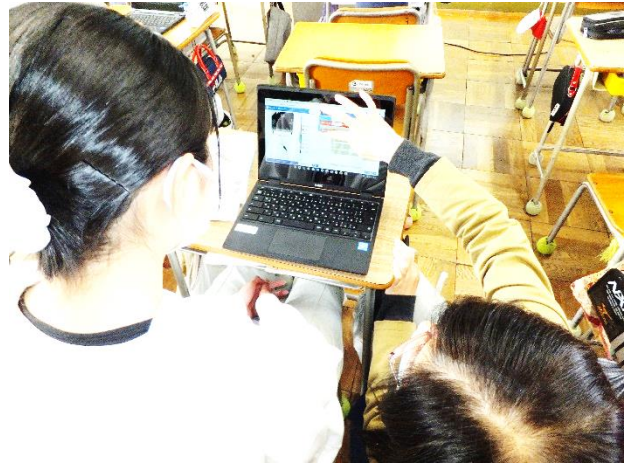
体育館周り，正門前（幼稚園北）の雑木林の落ち葉を集めてくれました。ゴミ袋50袋近くにもなりました。



特別教室の大きな机等を移動して，床のワックスがけをしてくれました。床が見違えるほど，綺麗になりました。



◆6年理科「プログラミング」(3月2日)



学校通信 No30 でプログラミングの職員研修会のことを紹介しましたが、この日は、実際に授業の中で子どもたちが学習しました。身の回りの電化製品は、電気を無駄にしないようにどのような工夫があるのか考えた後、ICT サポーターさんにも授業支援をしていただきながら、実際に電気を無駄なく使って明かりをつけるためのプログラムを組む学習を行いました。「人感センサー」「明かりセンサー」によって「もし、人が近づいたら (いなくなったら)」「もし、明るかったら (暗かったら)」という状況を一方のみ (両方) 察知したら、明かりをつける (消す) というように、人間が意図したようにプログラムを組んでいきます。子どもたちは、自分の指令通りにいかなかったらどこに原因があるのか、立ち止まりながらじっくり考えていました。

◆第6回学校運営協議会(2月24日)

今回の学校運営協議会では、学校関係者評価に関して委員の方からいただいたご意見について、学校より改善策を説明し、委員の皆さんと熟議をしました。その中で、特に読書習慣に関して委員の方より次のようなご意見をいただきました。

- ・年間貸出冊数は昨年度より増加しているが、読書習慣は白子小の課題でもあるため、分かるならば一人ひとりの貸出状況を把握し、その子に応じて少しでも読書量を増やしてほしい。
- ・白子小学校の子どもたちは自ら読書をするところが弱く、国語や算数の記述式の問題が弱いことにもつながっているのではないのでしょうか。読書をすることで読解力が身につく、記述するといった表現力も向上するのではないのでしょうか。

読書に関しましては、来年度も読書活動の充実に引き続き取り組んでいきます。各ご家庭でもご協力よろしくをお願いします。

委員の皆さんには、1年間学校の様々な課題について熟議していただき、ありがとうございました。

